学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　農業科

教科	農業	科目	農業演習基礎Ｂ	単位数	１単位	年次	３年次後期
使用教科書							
副教材等	「農業と環境」実教出版　※1 年次に購入したもの。						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

園芸作物の栽培管理や動物の飼育管理を通じ、それらの生産や活用に必要とされる基礎的な知識・技術の習得をめざします。また、それらの特性や生育に適した環境についても理解を深めます。

２　学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，園芸作物の栽培管理や動物の飼育管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）園芸作物の栽培管理や動物の飼育管理について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

（２）園芸作物の栽培管理や動物の飼育管理に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

（３）園芸作物の栽培管理や動物の飼育管理について生産性や品質の向上へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	園芸作物の栽培管理や動物の飼育管理について体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。	園芸作物の栽培管理や動物の飼育管理に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	園芸作物の栽培管理や動物の飼育管理について生産性や品質の向上へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	園芸作物の施肥管理	○園芸作物の作型 ○園芸作物の施肥管理 ○園芸作物の収穫と保存 ○果樹の剪定 ○衛生管理(HACCP)	a: 園芸作物の作型や施肥に関する基礎的な知識を身に付け、施肥管理や剪定の重要性を理解している。 b: 園芸作物の作型や施肥管理について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 生産物とその衛生管理について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	動物の生育と飼育環境	○動物の社会的役割 ○家畜伝染病の種類と予防 ○動物の飼育に関する法律	a: 家畜伝染病の種類と予防に関する基礎的な知識を身に付け、家畜伝染病の発生を未然に防ぐことの重要性を理解している。 b: 動物の社会的役割について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 動物の社会的役割について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	園芸作物の栽培管理	○園芸作物の生育調節 ○施肥と土壌改良 ○収穫・調整・出荷 ○生産物の加工 ○園芸作物の利活用	a: 園芸作物の生育調節と施肥に関する基礎的な知識を身に付け、その技術を適切に活用している。 b: 園芸作物の収穫適期の判定や調整・出荷について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 生産物の加工や利活用について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習記録 単元考査	授業観察	授業観察 実習記録
	動物の飼育管理	○給水・給餌管理 ○衛生管理 ○防疫対策 ○防寒対策 ○生産物の利活用	a: 動物の飼育管理に関する基礎的な知識を身に付け、その技術を適切に活用している。 b: 衛生管理や防疫対策について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 生産物の利活用について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習記録 単元考査	授業観察	授業観察 実習記録

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度